

令和2年度阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会
議事概要

1. 日時：令和3年2月8日（月）14:00～16:00
2. 場所：弟子屈町川湯温泉 川湯観光ホテル コンベンションホール ラピエタ
3. 出席者：出席者名簿のとおり
4. 議事

■開会

- 北海道環境生活部環境局 小林自然環境担当局長より挨拶
- 事務局からWEB参加者の紹介と大空町が急遽欠席となったことを報告
WEB参加：北海道開発局、北海道経済産業局、足寄町、中標津町、北海道経済部観光局
欠席：大空町

■議題

(1) 報告事項

1. 国立公園満喫プロジェクトに関する令和3（2021）年度予算について（環境省）
 - 事務局（環境省阿寒摩周国立公園管理事務所 笹渕所長）より資料1-1に基づき説明
 - ・令和3年度予算案：約190億
(令和3年度予算160億+令和2年度3次補正予算約30億)
 - 国立公園・温泉地等での滞在型ワーケーション推進事業 30億
 - 国立公園利用拠点滞在環境等上質化事業（拡充）
 - 国立公園利用拠点滞在環境等上質化事業（核心地の利用施設）（継続）
 - 国立公園等多言語解説等整備事業（継続）
 - 国立公園等の自然を活用した滞在型観光コンテンツ創出事業（新規）
2. 観光庁の令和3（2021）年度予算について（北海道運輸局）
 - 北海道運輸局観光部 水口次長より資料1-2に基づき説明
 - ・訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業の【拡充】部分（感染症対策）は指定市区町村も対象となる。
 - ・補助メニュー（7）観光案内所における非常用電源装置及び情報端末への電源供給機器の整備、（8）観光施設等における感染症対策機器の整備は指定市区町村も対象。
3. ATWS（アドベンチャートラベル・ワールドサミット）北海道開催について（北海道）
 - 北海道経済部観光局 石塚主任より資料1-3に基づき説明

- ・アドベンチャー・トラベル（AT）とは、「自然」「アクティビティ」「異文化」の三つのうち2つ以上を含む旅行形態であり、主要顧客は欧米豪の富裕層
- ・アドベンチャー・トラベル・ワールドサミット（ATWS）はアドベンチャー・トラベル・トレード・アソシエーション（ATTA）が主催する世界最大の AT イベント
 - 商談会とエクスカージョンで構成
 - 2021 年に北海道で開催されることが決定している
- ・ATWS2021 北海道について
 - 日程は9月20日～23日まで。商談会会場は札幌コンベンションセンターを予定し、エクスカージョンは全道各地に加え道外でも実施予定。
 - 北海道、北海道観光振興機構、運輸局、経産局、釧路市、札幌市を中心に実行委員会として準備を進めている。
 - エクスカージョンコースのモデルコース候補について、プレサミットアドベンチャー＝PSA の15コース及びデイオブアドベンチャー＝DOA の32コースの候補が決定し、昨年11月に実行委員会のホームページに公表。（ATTAの承認後、正式決定となる。）
 - 昨年12月にATWS2021の開催地が北海道である旨、ATTA主催のウェビナーにおいて正式に世界に向けて発信された。ATWSのホームページでも公表されている。
 - 本年9月の実施に向けて、引き続き準備を進めていく。

○報告事項1～3について出席者からの質問等はなし

4. 地域経済活性化支援機構（REVIC）との連携について

- 環境省阿寒摩周国立公園管理事務所 笹渕所長より、地域経済活性化支援機構（REVIC）と説明者の佐藤シニアディレクターの紹介。
 - ・環境省とREVICで包括連携協定を締結している。
 - ・阿寒摩周国立公園においても地域経済活性化に向け連携して取り組んでいる。
- 佐藤シニアディレクターより資料1-4に基づき説明
 - ・2013年設立。観光、地域の活性化をテーマに活動している。
 - ・阿寒摩周国立公園は観光遺産産業化ファンドの対象地域の一つ。
 - ・観光遺産産業課ファンド → 観光地の「再生」のフェーズではなく「活性化」のフェーズととらえている。官民公金が連携して観光コンテンツの磨き上げをしながら一体となって、会社設立や投資等を通じて地域経済の活性化支援を行う。
 - ・事例紹介
 - 長野県／上信越国立公園（志賀高原）エリア
 - 長野県／白馬村（岩岳）エリア
 - ・阿寒摩周国立公園活性化に向けての取組

- 北洋銀行、釧路信金と、どのような支援ができるか議論してきている。
- 国立公園の磨き上げをし、観光を使って活性化させたい。
- 摩周地域で先行して、様々な関係者と連携して取組進めたい。

○出席者からの質問等はなし

(2) 協議事項

1. 阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会設置要綱の改正について

○事務局から資料 2-1 に基づき説明

- ・「ステップアッププログラム 2020」→「ステップアッププログラム 2025」に改正
- ・構成員の職名変更（資料 2-1 下線部）

○出席者からの質問等はなし

2. 「阿寒摩周国立公園満喫プロジェクトステップアッププログラム 2025」および具体的な取組について

○環境省阿寒摩周国立公園管理事務所 笹渕所長より資料 2-2-1 に基づき説明

- ・阿寒摩周国立公園では、満喫プロジェクトの先行公園としてステップアッププログラムを作成し 2020 年までを当面の目標に取組を続けてきた。2021 年以降も満喫プロジェクトが継続されることが本省でも決まっている。各公園でも継続して取組場合は 2025 年までの計画を作成し、それに基づいて取組を進めていくように指示がでているので、この協議会の場で 2025 年までにに向けた計画について承認いただきたい。

・資料の訂正について（2 点）

- 「はじめに」の後半で G o T o トラベルキャンペーンにより一時的に国内旅行者は持ち直していると記述しているが、資料調整時（年末）と現時点（2 月）で状況が変わってきていると指摘があったので、事務局で訂正して再度共有する。

➤P. 34 （1）進捗状況の確認 3 行目

誤）阿寒摩周国立公園満喫地域協議会（仮）

正）阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会

○出席者からの意見、質問等

【弟子屈町 徳永町長】

- ・ステップアッププログラムが 5 年間延長されることについて、大変ありがたく思っている。川湯温泉地区では、自分達・町ができなかったこと（廃屋の撤去）ができ、ありがたい。
- ・地域住民、町自体の意識も変わってきている。この 5 年間で抱えている廃屋等の問題、11 館もの撤去ができる。
- ・町全体で弟子屈にくる方々、阿寒摩周国立公園に来る方々をどうおもてなしをする

か。地域全体として廃屋はじめ、自分達でやれることをまずやる、ということはこの事業のおかげで認識させられた。心から感謝したい。

- ・自分達のやりたいことをこの機会にできた。阿寒の皆様はじめ、多くの皆様に感謝したい。これからも、やれることはたくさんあるので、よろしくお願い申し上げます。

3. 「阿寒摩周国立公園トレイルネットワーク構想」および「阿寒摩周トレイル標識整備及び維持管理に関するガイドライン」について

○環境省阿寒摩周国立公園管理事務所 笹渕所長より資料 2-3-1、2-3-2 に基づき説明

- ・阿寒摩周国立公園トレイルネットワーク構想は、ステップアッププログラム 2025 で掲げている。また、2020 までの満喫プロジェクトでも力を入れて取り組んできたことの一つである。今後の方針について、この場で議論いただき承認いただきたい。(資料 2-3-1)
- ・阿寒摩周国立公園トレイル標識整備及び維持管理に関するガイドラインは、既存のトレイルを含めて、トレイル整備の情報発信についてまとめたもの。(資料 2-3-2)
- ・参考資料として阿寒摩周国立公園トレイルガイド冊子を配布。

○出席者からの意見、質問等はなし。

○協議事項 1～3 について出席者より承認。

(3) その他

○弟子屈町観光商工課 秋山課長より当日配布資料(神秘の湖【摩周湖】を守り、水質調査を続けたい!～摩周湖から地球環境の保全へ～)について紹介。

○出席者よりこれまでの振り返りや今後に向けて

【国土交通省北海道開発局 釧路開発建設部 石川部長】

- ・北海道総合開発計画をもとにして、道路、港湾、農業整備などのインフラ整備を行っている。10 年の計画の中で今年は中間点検の年にあたり、過去 5 年間の取組の状況を踏まえて、今後 5 年間どのようなことに重点を置いて進めていくか議論しているところ。
- ・計画のキャッチフレーズは「北海道の強みは食と観光」であり、それを戦略的産業として食と観光の生産空間を支えて、世界の北海道を目指すとしている。
- ・観光についての内容も多く盛り込まれており、今回の協議会の話に方向性が合致している。昨今のコロナ感染症の影響を受けても、北海道の強みである食と観光の価値は、魅力として変化はないと思っている。
- ・向こう 5 年間の方針として、世界水準の観光地形成という章立てをしており、この中にはアドベンチャートラベルや、観光資源のさらなる磨き上げ、個々の地域を結

ぶ広域ネットワークの整備等がうたわれている。

- ・道路等のインフラは阿寒摩周地域の今後の観光の発展に役立つものと思っている。これからも、満喫プロジェクトと方向をひとつにしてインフラ整備を行っていききたい。今後ともよろしくお願ひしたい。

【国土交通省北海道運輸局 観光部 水口次長】

- ・アドベンチャートラベルをグラフ化しようとは何年も取り組んできたが、取り組みば取り組みほど、色々な方々と手を結ばなければいけないと実感する。
- ・満喫プロジェクトをスタートし、色々な方々と一緒に活動する機会が増え、これが2025年まで延長ということであれしく思う。
- ・ATWS が今年開催されるが、スタート地点に過ぎないのでこれからどうやっていくのか問われている。コロナ時代なので地域とか環境とか国立公園とか、北海道にチャンスが回ってきていると考えるので、より一層皆さんと連携を深めてご一緒していきたいと思うのでよろしくお願ひします。

【林野庁北海道森林管理局 根釧西部森林管理署 相澤署長】

- ・ステップアップしていくにあたって国立公園と国有林における連携が必要になる。この地域の国有林を管理する者としては、取り込めるものについては、積極的に協力をしたい。
- ・利用や保護の点でいろいろあるが、我々ができることとしてこの地域を活性化することが一つの目的となるので引き続きよろしくお願ひします。

【釧路市 蝦名市長】

- ・釧路市の観光立国ショーケースということで、全国3カ所の中に選定されており、その選定の中でも東北北海道を大きく発信していきたい。
- ・その中で、地域からモデルを作り進めていく形の中でさらに相乗効果を高めていただいて、コロナ禍ではあったが成果はあったと思っている。
- ・環境省直轄の様々な事業もお力をいただいた。大変ありがたい。
- ・佐藤さん (REVIC) の話にもあったが、投資という言葉はまさに予算をどう使うか、国立公園満喫プロジェクトや観光政策について重要だと考える。今後、5年間のステップアッププログラム2025の取り組みなどと連携して進めたい。
- ・ATWS といった形もさらに活用したい。
- ・ワーケーションの関係で、民間の方 (株式会社エステー) が日本全国66カ所の空気を調べた結果、阿寒湖畔周辺の空気が一番きれい。
- ・保護と利用で日本一の環境を作り上げ、どんどん発信していきたい。

【弟子屈町 徳永町長】

- ・色々な面で町民全体で力を合わせることができ、また人材的にも国が応援してくれるため、町としていろんな面をやっていききたい。
- ・官房長官時代に菅総理や小泉大臣、赤羽大臣に来ていただき、各方面阿寒・摩周湖周辺を含め見ていただいた。町としてもしっかりとバックアップしていききたい。皆さんに感謝している。

【清里町 櫛引町長】

- ・阿寒・摩周国立公園と知床国立公園に地理的に挟まれており、農地が広がっている町である。
- ・今年の阿寒・摩周国立公園に名称が変更になるにあたり、区域が一部変更になった時に摩周湖の中腹、神の子池が含まれたため、清里町に観光客が増えた。今回のプロジェクトの力を借り環境施設などを整えることができた。
- ・裏摩周の施設についても老朽化が進んできていたが、プロジェクトの中で見直ししていただいた。感謝したい。
- ・清里町の、2つの国立公園の中間点にあるという立地条件、斜里岳という資源を活用しながらアドベンチャー・トラベルの体験・滞在型観光を目指していききたいと考えているので、ご指導ご支援を賜りたい。

【標茶町 牛崎副町長】

- ・標茶町は西別岳周辺が阿寒摩周国立公園内に含まれている。西別岳は主に登山やトレイルで利用されているが、地元としてこれまで清掃作業や休憩施設である山小屋の維持管理に加え、登山客にセイウタンポポの駆除協力呼びかけ、高山植物の保護にも努めてきたところ。
- ・しかし、それらの主な担い手が高齢化しており、この満喫プロジェクトの中で新たな5年に向け、どうしていくか、どういう取組みをしながら機能を発揮し、貢献できるのか、そういったことを考える5年間であると、トレイル構想等しながら考えると。その際は是非、プロジェクトに参画している皆様の力をお借りしながら進めていきたいと考えている。
- ・ATWS においては、釧路川下流域の自治体としてお手伝いできることがあるのではないかと考えている。そちらもぜひよろしくお願ひしたい。

【小清水町 産業課 畔木課長】

- ・本町は、阿寒摩周国立公園の中では屈斜路湖外輪山の部分に接しているということで、今回協議会に参加させていただいた。

- ・ 瀧沸湖ラムサール登録湿地において、インバウンドを対象としたバードウォッチングで、4年ほど前から町おこしに取り組んできたところだが、今般の新型コロナの影響で観光業が冷え切ってしまっている状況である。本町は知床国立公園の入口、阿寒摩周国立公園のオホーツク側の出入口ということで、元々通過型観光の地域であり、観光で生計を立てている者は少なかったが、(コロナで)地域は大きな影響を受けている。
- ・ 本日は、これからの満喫プロジェクトの新たな5年間ということでご提案をいただき、また、本年 ATWS が開催されるということで本町の観光業の皆さんも非常に期待しているところ。
- ・ これからも観光事業について積極的に参加させていただきたいと思っているので、よろしく願いしたい。

【自然公園財団阿寒湖支部 野竿主任】

- ・ 自然公園財団阿寒湖支部は、国立公園の施設の管理や清掃を行っている。
- ・ ステップアッププログラム 2020 では、阿寒湖温泉の顔でもある阿寒湖畔駐車場の料金所及び柵の老朽化対策を予定していたが、実施途中ということもあり、ステップアッププログラム 2025 ではそれを継続して実施していく。また、温泉街の清掃を繁忙期に積極的に実施し、阿寒摩周国立公園を美しく維持していければと思っている。

【自然公園財団川湯支部 大坂所長】

- ・ これまでの成果として、
 1. 老朽化した施設の簡易修繕・補修、美化清掃及び管理の実施。
 2. 摩周湖第一展望台及び硫黄山駐車場のチケットハウスへのポケットークの配備及び屋根と壁の塗装による景観改善。
 3. 自然観察会用の雨具レンタル事業の実施。
 4. 駐車料金の用途を明確にするための料金表示の看板設置を実施。
 5. 地域住民による魅力再発見を促すため、弟子屈町民向けに駐車場の無料開放を2018年から2020年に実施。
- ・ 今後も継続して地域住民に摩周湖硫黄山の魅力を再発見していただけるよう、町民限定の駐車場の無料開放を引き続き実施したい。2020年はコロナ禍ということもあり3日間という短い期間の実施となったが、有料台数の13%という結果になっている。

【北海道観光振興機構 地域支援本部地域観光部 嵯峨山担当部長】

- ・ 北海道観光振興機構の大きな事業の一つとして地域の魅力を生かした観光推進事

業があり、国立公園エリアでサポートしており、美幌地区のトレイルルートの整備を3ヶ年事業の3年目として支援させていただいている。

- ・今年から摩周湖観光協会の川湯温泉ブランド化事業やその他近隣エリアの事業についてもサポートさせていただいている。
- ・北海道観光振興機構としては、マーケティングの観点からマネジメントをし、皆様と手を取ってサポートさせていただきたいと思っている。

【前田一步園財団 新井田理事長】

- ・蝦名市長から、一番空気がきれいなのは阿寒湖だというお話があったが、大変励みになるものであった。
- ・満喫プロジェクトの進め方について、問題点や課題の整理をし、計画期間内にどのように事業を進めるのか、チェックを入れながら進められていたということは、本当に重要な事だと思っている。
- ・本プロジェクトの前半5年間については、訪日外国人や外国の富裕層を対象にした事業が中心であったが、新しいステップアッププログラムは、国内の利用者にも焦点を当てたものになっており、非常に大事な事だと思っている。
- ・訪日外国人であろうと富裕層であろうと、我々、日本人であろうとも本当に感動するような公園に変わりはなく、自然に配慮した整備が必要だと思っている。
- ・園地整備や遊歩道整備といった基盤となる整備を進めることは非常に大事なことだと思うので、しっかりと進めていただきたい。
- ・自然と活用を共生させながら進めるという内容が計画の中に出てきているが、阿寒摩周国立公園は自然を大事にしているということが最大のセールスポイントになると思う。
- ・核となるような自然は徹底的に「守る」という姿勢も持つべきだと考えている。

【摩周湖観光協会 渡辺会長】

- ・昨年9月末に満喫プロジェクトで廃屋を撤去させていただき、その跡地を利用して「KAWaaaaRu (かわーる) 川湯」というイベントを実施した。その名のとおり景観とともに町民の意識が変わったということで、それを機に温泉川の掃除や景観の改善など色々な取組みが行われた。
- ・10月11日から25日の間に硫黄山のナイトミュージアムを実施。自然の光を当てて、硫黄山の歴史、景観、星の説明を行い、多くのお客さんに来ていただいた。
- ・川湯の林の中で「森の図鑑」という、QRコードを利用し、携帯で動植物の説明をすることで森の価値を高める取組みを行った。
- ・観光協会では、ブランド化推進として、硫黄泉の殺菌力、原生林の森林浴、蒸気浴、飲泉など、川湯温泉の特徴を生かした健康増進を図り、地元の地域の特色を活かし

た取組みを行っていききたい。満喫プロジェクトには本当に感謝している。

- ・今後は電気自動車の普及やプラスチックゴミなどの減量、どこでも観光地化を目指して色々な場所を見ていただきたい。地元の食を活かしたこだわりのおもてなしをしていければと思っている。

【阿寒観光協会まちづくり推進機構 大西理事長】

- ・国立公園満喫プロジェクト第1期、これで終わりかと思っていたところだが、ステップアッププログラム2025の提案があり、本当に感謝申し上げます。
- ・国立公園満喫プロジェクトと観光立国ショーケースという国の二つの大きな施策にしっかりと付いていこうということで、カムイルミナ、阿寒の街全体をアイヌ文化の発信地にするハロプロジェクト、ATWSに象徴される阿寒の自然を活用したコンテンツの充実、アイヌ文化の発信と、4つの重点プロジェクトについて推進し、ほとんど実現できたと思っている。
- ・マリモのプレミアムツアーは課題として残っている。マリモの素晴らしい魅力を世界のアドベンチャーツーリストにどう知っていただくか、という試みも進めていきたい。
- ・なにより感謝申し上げたいのは、ボッケの栈橋の復元や、景勝地の滝口までの遊歩道の検討について、約束したことをしっかりと遂行していただいたこと。
- ・満喫プロジェクト第1期の課題であった地元の充実については達成できたと思っている。次のステップにおいては、パートナーである弟子屈町との強い連携はもちろんのこと、津別町や足寄町、近隣の町村様との連携に力を注いでいきたいと思っている。

【美幌町 多田商工観光主幹】

- ・本町は津別町と大空町と広域で三町統一観光協議会という団体を設置している。美幌峠を真ん中に、藻琴山、津別峠を結ぶトレイルを作っているところ。今年度、環境省の補助を受け、3地点を結び、全線開通となった。
- ・まだ調査道であるため、今後においては、3町での広域連携をさせていただき、関係機関の協力を受けて検討して参りたい。

【津別町 産業振興課 小泉課長】

- ・2019年に阿寒摩周国立公園に隣接する上里地区（町民の森自然公園）にネイチャーセンターを設立し、アクティビティの拠点施設・国立公園へ誘客するエントランスとして確保している。
- ・町民の森自然公園と津別峠においては、2019年に案内文章の多言語化、2020年に看板整備の媒体化を実施してきた。

- ・3町の広域観光協議会（美幌町・津別町・大空町）が「屈斜路カルデラ・外輪山ロングトレイルルート」の整備を目指して現在取り組んできているところ。
- ・今後の取り組みとして、弟子屈町と連携して津別峠展望施設の展望スペース拡張の可能性を探りたいと考えている。満喫プロジェクトステップアッププログラムの取り組み個票として新規に提出させていただいたところ。
- ・ウィズコロナ対応とアフターコロナを見据えた目玉のひとつとして、この地域のさらなる魅力アップと誘客に向けて取り組んでいきたいと思う。

【経済産業省北海道経済産業局地域経済部食・観光産業課 高橋参事官（WEB）】

- ・直轄の事業はなかなかないが、事業再構築補助金での支援、小規模の事業者には活用いただける小規模事業者持続化補助金等を引き続き用意させていただいており、事業者への支援という形でステップアッププログラムに関わっていければと思っている。
- ・ATWS 開催に向け、関係の皆様と一緒に頑張っていききたいと思うので、引き続きよろしくお願ひしたい。

【北海道経済部観光局 石塚主任（WEB）】

- ・アドベンチャートラベル・ワールドサミットに関する報告をさせていただいた。
- ・ATWS を契機として、本道における AT の振興を進めていかなければならないと考えている。
- ・阿寒摩周国立公園エリアは、北海道を代表する AT の適地の1つである。ガイドの育成、各種プロモーション等の様々な取り組みを通じて、環境整備・情報発信等を行っていききたい。今後ともよろしくお願ひしたい。

【足寄町 渡辺町長（WEB）】

- ・足寄町のオンネトー地区の事業については、環境省、北海道、関係者の皆さんにご尽力いただいたことに心から感謝申し上げたい。
- ・オンネトー地区については、もともとオンネトー茶屋という休憩施設であり、新しい休憩舎が必要だということが課題になっていた。
- ・今回の満喫プロジェクトの事業で令和2年に事業着手した。令和2年度には下部の基礎工事を実施し、令和3年度には上部の建物部分が完成する予定。
- ・運営の中身についても今後検討を進めて行く予定。今後も協力をよろしくお願ひしたい。

【中標津町 経済振興課 太田課長（WEB）】

- ・満喫プロジェクトが継続して実施されるということで、本町としても空港を持つ町

として、連携協力させていただきたい。

【北海道釧路総合振興局保健環境部 井戸井くらし・子育て担当部長】

- ・今後、この新たなプロジェクトを続けられることを本当にうれしく思う。
- ・自然公園はコロナ禍においても様々な場面で強みがあり、こういった取り組みを続けていることは地域の飛躍に繋がっていくものだと思う。
- ・東北北海道地区の真ん中にこのような素晴らしい国立公園があり、そこで先進的な取り組みをやっている、それが続いてきたことで、我々としても少しでも役に立てるよう、できることをしっかり取り組んでいきたいと思っている。

【北海道環境生活部環境局 小林自然環境担当局長】

- ・最初に事務局として挨拶をさせていただいたので個人的な感想も含めてお話させていただく。
- ・国立公園満喫プロジェクトに私自身が立ち上げ時から色々なかたちで関わらせていただいている。これまで常識だと思っていたことが、発想の転換で大変大きく変わっていることを私自身学ばせていただいた。特に国立公園の保全と利用、これはどちらかというかと相反する物という風に考えていたが、保全することで利用が促進する、逆に利用することで保全をはかる、両輪とした取り組みが色々難しい課題だと思っていたが、実は様々な場面で可能だということがよくわかった。
- ・未利用資源が想像以上に多くの視点を変えることによって優れた価値を持つということなどもよくわかった。このような成果については国立公園のみならず自然公園の保全や利用のあり方にも非常に大きく影響するものだと考えている。
- ・私の個人的な考えだが、私自身や今日お集まりの皆さんも、自分がやりたいこと、自分が満喫することを考え実践するということで他の利用者の方も引きつけられると思っている。コロナも含め様々な課題があるが、これからも固定観念にとらわれず、今後も地域が一体となって弾力的な発想によってプロジェクトが推進していくことを大いに期待しているところ。

○笹渕所長より来年度の予定等について

- ・地域協議会を国立公園の総合型協議会に発展移行していきたいと考えている。
- ・観光の利用だけでなく、保護の観点も含めて国立公園の課題を議論する場として協議会を発展させたい。
- ・今後の自然公園法改正の流れも見ながら、体制について皆様と考えていきたい。

○全体を通じて出席者からの質問等はなし。

【事務局から連絡事項】

- ・この後、17:00から川湯ふるさと館において、満喫プロジェクト特別対談を予定しているため、来場願いたい。

■閉会

- 環境省釧路自然環境事務所 田邊所長より挨拶